

平成 30 年 9 月 吉日

会員各位

一般社団法人 福島県作業療法士会
県中支部支部長 若林 由起子

平成 30 年度 県中支部「生活行為向上マネジメント事例検討会」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、県中支部「生活行為向上マネジメント事例検討会」を開催することとなりました。今回の事例検討会の発表は、以下の事例となっております。ぜひたくさんの方に聴講いただき、発表や事例登録へと繋げていただければと思います。基礎研修を修了していなくても聴講と検討会への参加は可能ですので、積極的な参加をお待ちしています。今回、事例発表に数多くの募集を頂いたため、検討会を 2 回開催する運びとなりました。別紙の申込み用紙に参加の希望日を記入していただくようお願いします。

記

1. 日程：第 1 回 平成 30 年 10 月 5 日(金) 18:30～20:40 (受付 18:15～)
第 2 回 平成 30 年 11 月 9 日(金) 18:30～20:40 (受付 18:15～)
2. 場所：郡山健康科学専門学校
3. 内容：MTDLP 事例検討会
講師：根田英之（総合南東北病院）
宗像暁美（太田西ノ内病院）
安部里美（南東北春日リハビリテーション病院）
4. 参加費：無料
5. 申込締切：平成 30 年 9 月 18 日（火）
6. 申込方法：申込用紙に必要事項をご記入の上、メール又は FAX にてお申込みください。
7. その他：今回の勉強会は、生涯教育基礎コースの 2 ポイントに該当します。
聴講者は現職者共通研修「9. 事例検討」の対象となります。

第1回 平成30年10月5日(金)

発表者名 (所属)	演題名
後藤 新弥 (南東北春日リハビリテーション病院)	病前大切にしていた作業が息子の協力・作業形態の変更により再獲得できた一例 ～MTDLPを通して息子との目標共有～
国分 由布子 (南東北春日リハビリテーション・ケアセンター)	目標共有できたことで入院中のリハビリに意欲を持つことができ、退院への繋がった事例
古川 雄太 (南東北第二病院)	MTDLPを用いて地域との交流を保つことができた一例
富永 泰広 (南東北第二病院)	家庭内役割再獲得に向け、MTDLPを用いた介入
高橋 慧 (てちがわら通所リハビリ)	クライアントのこだわりを大切にしながら運転免許更新までのプロセスに焦点を当て認識に変化がみられた事例
塚田 徹 (桑野協立病院)	維持期リハの MTDLP

第2回 平成30年11月9日(金)

発表者名 (所属)	
近藤 文哉 (あさかホスピタル)	作業所に通いながら地域生活の維持を目指して (仮)
佐藤 望 (あさかホスピタル)	不安が強い統合失調症患者に対し、地域生活の維持を目指した介入
堀川 柚葉 (南東北春日リハビリテーション病院)	注意障害を呈する患者に対し、家族と協力し目標共有を行ったことで自宅内役割を見据えた生活支援ができた事例
橋本 静佳 (南東北春日リハビリテーション病院)	家族思いの脳卒中片麻痺患者と目標共有を図り、自宅内役割を獲得することが出来た事例
天江 康介 (総合南東北病院)	急性期からの目標を統一して関りをもった事例 ～生活行為向上マネジメントを用いた介入～(仮)
大内 尊久 (公立岩瀬病院企業団)	在宅酸素導入目的の入院中、転倒を機に ADL 低下した独居女性の退院まで (仮)
清水 拓哉 (公立岩瀬病院企業団)	病前に大切にしていた作業を通してクライアントに対する家族の認識に肯定的な変化を認めた事例 (仮)

以上

【お問い合わせ先】

南東北春日リハビリテーション病院 リハビリテーション科 安部里美

TEL : 0248-63-7304 (リハ科直通)

FAX : 0248-63-7307

Mail : kasuga_reha@yahoo.co.jp